

進路指導室へようこそ3

前橋女子高校進路指導部

令和7年度 MJ 進路通信 第52号

令和8年3月6日(金)発行

■卒業式が行われました

3日の月曜日、春の到来を感じる暖かな気候のもと卒業式が行われ、3年生が前橋女子高校を巣立っていきました。卒業生代表の津田さんの言葉からは、前女での3年間のたくさんの思い出とともに、周りの人への大きな感謝の気持ちが伝えられ、前女らしい感動的な卒業式となりました。3階の教室がぽっかりと空いた校舎は、寂しさがまだ残りますが、3年生の卒業とともに、実質的に1学年上のステージに立った皆さんには、これまでの前女の伝統をしっかりと受け継いでますます前女を盛り上げてほしいと思います。そして、よく見ておいてほしいのは、卒業後も学校に来て後期入試のために勉強を続ける先輩の姿(合格が決まって私服で楽し気に学校に来る先輩もいますが・・・)。最後の最後まで望みを捨てずに努力を重ねる先輩の姿は、きっと後輩の皆さんにとっても大きな刺激になるはず。最後まで頑張り抜いた先輩たちの姿を目に焼き付けておきましょう。次はいよいよ皆さんたちの番です。



■令和7年度大学入試合格状況

国公立大学の公募制推薦入試・総合型選抜入試の可否結果がほぼ出そろい、また、私立大学の結果も続々と報告が届いています。多くの先輩たちは前期入試の結果待ちですが、現時点で判明している大学合格状況(第1弾)を紹介します。(私大は2月末判明分なので、今後の合格数は加算されて集計されます)

国公立大(総合型選抜・公募制推薦)合格状況

[総合型選抜]

大学	人数	学部
東北大	3	工・医-保健・薬
お茶の水女子大	1	理
神奈川県立保健福祉大	1	保健福祉

[公募制推薦]

大学	人数	学部
岩手大	1	獣医
筑波大	1	医-医
群馬大	9	共同教育(5)・理工・医-医(3)
千葉大	1	看護
お茶の水女子大	1	文教育
横浜国立大	1	理工
新潟大	2	医-医(2)
富山大	1	薬
岐阜大	1	医-医
高崎経済大	3	地域政策(2)・経済
県民健康科学大	1	診察放射線
東京都立大	1	法
和歌山県立医科大学	1	薬

私立大学合格状況

※合格5名以上の大学を抜粋

大学	のべ人数
国際医療福祉大	6
共愛学園前橋国際大	9
高崎健康福祉大	23
獨協大	22
文教大	12
千葉工業大	45
青山学院大	5
北里大	14
國學院大	9
国土館大	8
駒澤大	12
芝浦工業大	16
成蹊大	7
専修大	8
大東文化大	5
玉川大	5
中央大	15
津田塾大	9

大学	のべ人数
東京経済大	6
東京女子大	10
東京電機大	7
東京農業大	9
東京薬科大	8
東京理科大	13
東洋大	19
日本大	18
日本女子大	8
法政大	18
東京都市大	7
武蔵野大	11
明治大	11
明治学院大	14
明星大	5
立教大	14
早稲田大	11
神奈川大	10

(注) 1人で複数学部合格をもらっているケースがあるため私大はのべ合格数です

医学科合格状況

国公立大	7	筑波・群馬(3)・新潟(2)・岐阜
私立大	4	国際医療福祉・北里・岩手医科・杏林

■2026 大学入試の話題から

大学入試問題というのは、それぞれの大学のアドミッション・ポリシーに基づき、「こういう力をつけて入ってきて欲しい」という明確なメッセージをもって作成されています。海外の優秀な大学と比べて、女子学生率の低さが何かと話題にあがる東京大学では、今年度の入試問題で象徴的な問題が出題されました。

3 班は、女性の社会的な地位や役割の変遷について関心を持ち、調べたことをパネル 3 にまとめた。

パネル 3

次の資料は、前 7 世紀後半にレスボス島に生まれ、古代ギリシアの叙情詩人として名高い女性が歌った詩である。

やさしい母さま、
ほんにわたしや、もう機を織る
気も出ませぬえ、
すらしとした殿御をいととしと
おもうこころの切なさに。

(呉茂一訳、表記一部改変)

- ・この詩は、未婚の女性が若い男性に恋い焦がれる様子を描いたものであるが、本来であれば彼女は母とともに家事労働を期待される存在であったことも示している。
- ・前近代における一般の女性たちは、このように家庭内での役割のみを求められ、政治に参加する権利を認められないことが多かった。世界史には権力の座についた女性も現れたが、その多くは、家系や結婚などによる地位の獲得や向上が前提となっていた。
- ・近代に入ると、男性優位の役割分担がむしろ強まったが、20 世紀になると、社会に出て働く女性も多くなり、それが女性の社会的・政治的地位向上に結びついていった。

第 4 問

女性と男性の働き方のそれぞれの特徴は時代とともに変化してきた。日中戦争から太平洋戦争にかけての時期や、高度経済成長期の日本における女性と男性の働き方の変化について述べた次の(1)~(4)の文章と図を読んで、下記の設問 A・B に答えよ。解答は、解答用紙(二)の欄に、設問ごとに改行し、設問の記号を付して記入せよ。

B 高度経済成長期を通じて、女性の働き方にどのような変化があったか。変化をもたらした背景を含めて、3 行以内で述べよ。

(以下、毎日新聞記事より)

国公立大の 2 次試験 2 日目となった 26 日、各地で試験が実施された。東京大では地理歴史の 2 科目で女性の社会進出に関する問題が出された。東大は女子学生が 2 割前後と少ないことで知られ、これから入学する学生へのメッセージとも受け取れるような出題となった。

女性の社会進出が題材となったのは「日本史探究」と「世界史探究」。日本史探究では、日中戦争～太平洋戦争と高度経済成長期における日本の男女の働き方の変化について、その理由などが問われた。

世界史探究では、古代ギリシャの詩などから世界における女性の社会的な地位や役割の変遷について考えさせる問題が出された。

■「大学入試基礎用語」第 12 回（後期入試とは）

国公立大前期日程の入試が終了し、卒業していった先輩たちの中には、今も学校に来て勉強している人もいます。彼女たちは何の勉強をしに来ているのでしょうか。

実は国公立大学の入試日程には〔前期・中期・後期〕の 3 つの日程が設定されており、残念ながら前期で不合格だった受験生が中期・後期の入試に臨むことがあります（一部後期日程のみ実施する大学もあります）。学校に来ている卒業生の多くは、6 日から行われる前期日程の合格発表をうけて、もし不合格だった場合に備えて 12 日から始まる後期入試の準備をしているわけです（偉いですよ。本当に頭が下がります）。

国公立大への進学を目指す受験生にとっては、まさしくラストチャンスといえます。その性質上、敗者復活戦的なイメージがあり、また公表される倍率も高倍率のところが多いため、どうしても悲壮感漂う受験に見られがちです。ですが、後期日程は国公立大学を目指す生徒にとっては意外にチャンスが多い、というのも事実です。

区分	試験実施大学・学部等数		欠席率 (%)
国立	(69大学)	(265学部)	(62.7)
	69大学	268学部	63.5
公立	(60大学)	(122学部)	(64.8)
	61大学	123学部	64.3
計	(129大学)	(387学部)	(63.2)
	130大学	391学部	63.7

上の表は、ある年の後期日程の欠席率を表したものです。出願したものの前期で合格した人や（前期入試の入学手続きをした時点で後期入試の受験資格がなくなります）、私大への進学を決めた人は当然受験しませんから、見た目以上に倍率が低いのが実情です。毎年、「実際に受験してみたら席がスカスカだった」という声を必ず聞きます。また、最近では後期入試の合格発表が終わった直後に追加合格の連絡が来て、最後の最後で入学の切符を手にした生徒もいます。進学先を決めた人が新しい生活の準備を始める姿を見ながら受験するのは、確かに辛いですが、それでも最後まで頑張っていれば大きなチャンスがまだ残っているのです。国公立大や現役での進学の優先度が高い人は、第一志望校に加え、後期日程をどうするかということも考えながら受験計画を立てることになります。